

講座 だんじり魅力再発見！ 地車に残る和船の記憶

入場無料

令和3年 11月21日 (日)

◎ 講演 13時～15時
12時より
整理券配布

◎ 彫刻展示 10時～17時

新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限を行なう場合がございます。
マスク着用の上ご来場くださいますようお願い申し上げます。



現存最古の岸和田型地車 [岸和田だんじり会館 蔵]

会場 岸和田だんじり会館

大阪府岸和田市本町11-23
電話 072(436)0914



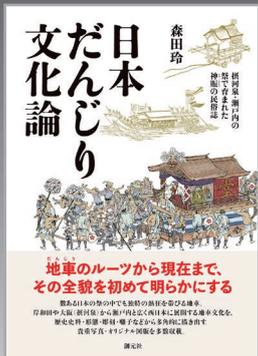
- ・話し手 森田 玲 たみ うた 〈民謡代表・篠笛奏者〉
なにわ大賞特別賞 / 文化庁芸術祭新人賞 / 京都市芸術文化特別奨励者
- ・聞き手 寺田篤史 〈ラチオきしわだパーソナリティ〉

岸和田をはじめ摂河泉・瀬戸内の祭で見られる地車のルーツが明らかに！
地車は、江戸時代に淀川を往来した豪華絢爛の川御座船をモデルとし、滑稽寸劇・ニワカを披露するための舞台として生み出されました。岸和田の地車に見える、唐破風、土呂幕、松良、水板、見送り、吹散、後艇子のダンス、大工方など各部に、和船の記憶が残ります。

『日本だんじり文化論』の著者で、だんじり文化に造詣の深い森田玲による解説で、地車の歴史・文化を紐解きます。



川御座船之絵図 [東京大学図書館 蔵]



『日本だんじり文化論』
創元社・刊行記念

主催 だんじり彫刻研究会 072(438)1068 / danjiri@shinobue.co.jp

後援：岸和田市・岸和田市観光振興協会